無料Webサービス

Addropot Beta

（アドロポット・ベータ）

概要説明書

プレスリリース

2017 年 11 月 20 日

(Ver. 3.11B)

株式会社レーレンフュラー

株式会社レーレンフュラー(本社:東京都品川区)は 2017 年 11 月 20 月、連絡先をはじめとする各種情報を公開・追跡する無料ウェブサービス「Addropot Beta (アドロポット・ベータ)」を公式リリースしました。

http://addropot.net/

■ Addropot について

Addropot は、情報追跡のための無料サービスです。例えば連絡先情報は名刺、ショップカード、手紙や電子メール、各種届出、携行品などに記載しますが、これらの情報は移転や改称などの理由により経年劣化します。連絡先の記述者は本来、記載事実に変更が発生する毎にこれらを更新すべきでしょう。しかし大量に配布された紙片やインターネットを介して送信されたデータなど、そのすべての情報の更新を行うのは現実的ではありません。このように、従来の方法では更新されるべき情報が更新されることなく時間が流れてしまい、ついには最新の情報を追跡できなくなるという問題に直面します。これにより事業者と顧客の関係は絶たれ、知人間の連絡は不能となり、拾得物の返還先も不明となってしまいます。そこで Addropot は過去に記載された情報を元に、最新情報を追跡する手段を提供します。

■ Addropot の4つの機能

1、 メールアドレスの状況追跡

2、 名刺等情報追跡(アドロカード)

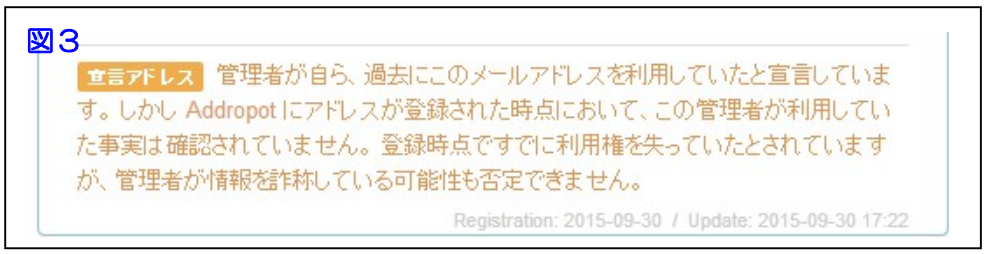
3、 期間限定の受信専用メールボックス(私書箱)

4、 非常事態発生時の自動配信メール(予約メール)

■ メールアドレスの状況追跡

長らく使用してきたメールアドレスの利用を中止する場合、大抵は「メールアドレス変更のお知らせ」などのメッセージを送信して知人に告知します。しかしその旧アドレスを知っている、すべての人物に対して告知するのは困難でしょう。こういった問題は、そのメールアドレスを Addropot に登録することで解決できます。

利用停止予定のアドレスがまだメールを受信できる状態であれば、Addropot に登録する際に送られる確認メールを受信することで、当該アドレスの利用権をあなたが所持していることが証明されます（利用を確認できるメールアドレス＝Type:A）。また既に利用権を失い、現在では受信することができないメールアドレスであっても、Addropot に登録することは可能です（利用を確認できないメールアドレス＝Type:B）。登録されたメールアドレスを Addropot 内の設定で「公開」状態にすると、Addropot のトップページでメールアドレスを検索できるようになります。



さて、知人Aがあなたのメールアドレスにメッセージを送っても返信を得られないような場合、知人Aは Addropot であなたのアドレスを検索します（図2）。すると該当アドレスに関する現在の状況、例えば「このアドレスは現在使用していません」といった情報を見ることができます。なおこの情報にメッセージの転送先が指定されている場合は、右肩に「メッセージ送信」のボタンが現れます。これにより知人 A は、あなたの新しいメールアドレスを知ることなく、あなた宛てのメッセージを送信することができます。検索したメールアドレスが Type:B（利用を確認できないアドレス）である場合は、利用していた事実がシステム上では確認されていないことが明示されます（図3）。

しかしこのままでは問題が残ります。あなたの旧アドレスを知っているあらゆる人物が、Addropot を通じてあなたにメッセージを送信できてしまうからです。これでは新手のスパムメール。そこで Addropot には、知人に限

定してメッセージ送信を許す「認証クイズ」という機能を実装しています（図4）。

認証クイズ

「認証クイズ」（図4）は、あなたの情報にアクセスしようとする人物が、あなたの知人であるか否かを判別する仕組みです。 **図４**

あらかじめ、知人であれば必ず知っているであろう内容を元に、あなたがクイズを作成しておきます。あなたの情報にアクセスしようとする人物が現れると、これが自動的に表示されます。クイズに挑戦させ、その採点結果が既定の点数に達すれば相手が知人であると判断。そして知人はようやく、情報の開示や送信メッセージの作成などといった次のステップに進むことが可能となるわけです。

クイズ内容は随時変更することができるため、たとえ模範解答がインターネット上に漏れてしまったとしても対処が可能。また知人関係の種別により複数のクイズを設定できるため、例えば学生時代の友人用、業務上の知人用など、さまざまな知人に対応するクイズを表示させることができます。

Addropot ベータ版で作成できる各クイズの設問数は最大3問で、出題形式は3種類。

・一問十答

テキスト（文字）入力式の設問。一つの設問に最大 10 種類の正答を用意でき、そのどれか一つに入力が合致すれば得点が加算されます。一つの設問に、複数の回答欄を設置することも可能（図中では設問1）。

・最大5択

2つ以上の選択肢を用意し、そのうち一つを正答とします。設定できる選択肢は2つから、最大で5つ（図中では設問2）。

・複択20

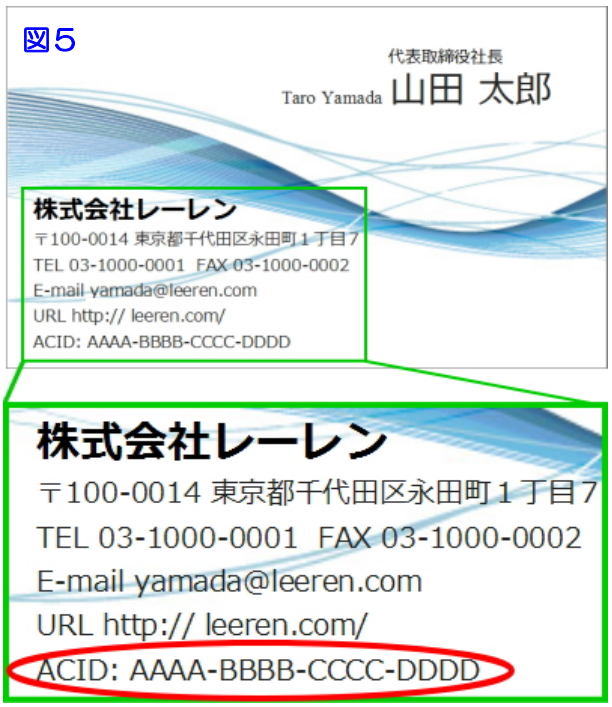
2つ以上の選択肢を用意し、複数選択で回答。正答・誤答ともに最大10個、合計20個の選択肢を設けることができます。なおクイズ挑戦者が正答を選択すると加点されますが、誤答を選択すると減点されます（図中では設問3）。

全問正解となった場合の合計点を「論理的最高点」とし、0点～論理的最高点の間で合否ボーダーラインであ

る「認証点」を設定します。採点結果が認証点に達することにより知人と判断され、次のステップに進めるようになります。

■ **名刺等情報追跡（アドロカード）**

メールアドレスはそれ自体がインターネット上における唯一無二の存在であるため、Addropot のメールアドレス検索により最新の連絡先にアクセスできるはずです。さて一方、名刺をはじめとした文字情報もまた、時を経ることで劣化します。しかしメールアドレスを有しない情報では、確実に追跡できそうなキーワードがありません。例えば氏名であっても変更の可能性はありますし、住所もまた表記方法に統一性のない場合が多々あります。もちろんウェブサイトのURLも、変更される可能性は十分にあるでしょう。



そこで Addropot は、唯一無二の記号である 16 文字の ACID（アドロカードID）を発行します。連絡先情報を記載する際には、このACIDを併記するようにしてください（図5）。発行済みACIDの設定を「公開」状態にすると、Addropot のトップページでこれを検索できるようになります。

さて過去に渡した名刺を手に、あなたに連絡を試みる人物 B を想定してみて下さい。もし名刺情報が古くてあなたに連絡できない場合、人物 B は名刺上のACIDを探し、これを Addropot で検索すればよいのです。このACIDが伴う名刺形式の情報（図6）を、「アドロカード」と呼びます。

あなたがアドロカードを公開するには、ACIDに紐づく近況情報を常に更新しなければなりません。これは一見して面倒なことのようにも感じます。しかし逆に言えば、この情報さえ更新すれば、他の紙媒体や電子メールなどの電磁記録、携行品の所有者情報の更新は事実上、必要なくなります。例えば旅先で紛失した手帳。これが10年後に発見されたとしても、あなた自身が転居していれば返還しようがありません。しかし所有者情報にACI

Dさえ併記されていれば、拾得者は Addropot を頼りにあなたに連絡することが可能となります。

もちろん、あなたのACIDがインターネット上に漏れてしまった場合も安心。認証クイズを併用することにより閲覧可能な人物を制限できるため、深刻な個人情報の漏洩にはつながりません。名刺に使う「知人用ACID」、携行品の連絡先情報に使う「不特定多数閲覧用ACID」など、複数のACIDを効果的に配して利用することができます。

アドロカードのリスト化

アドロカードは ACID さえ入手すれば閲覧可能です(※認証クイズが設定されている場合には、採点結果に依存します)。Addropot には、このACIDを複数集めて一覧表示する機能があります。例えば勤務先周辺の飲食店でショップカードを集め、そこに記載されたACIDをリスト化。すると、お気に入り店舗の一覧表を作ることができます(図7)。社員名刺の ACID を一覧にすれば、「社員名簿」のでき上がりです。

一方、一覧表に組み込まれた側の ACID 所有者は、一覧表に対して告知コメントを送ることができます。この「リスト告知機能」は、一定のコメントを表示し続けることができるだけでなく、表示期間を秒刻みで設定することも可能です(図7、図8)。例えば居酒屋のACIDであれば『現在待ち時間なし！ 20:00 までの入店でビール半額！』といったコメントを発信。同店の ACID をリストに加えている常連客に対してのみピンポイントな告知ができるため、非常に高い広告効果を期待できるでしょう。社員名簿の場合には、リスト告知機能を「在籍」「離籍中」といった表示にも利用できます。

この一覧表に表示する項目やその数、一つの項目に表示できる文字数などは、リスト作成者が自由に設定可能(図7)。左端のリンクボタンをクリックすれば、詳細情報が記載されたアドロカードへとジャンプします。

■ 期間限定の受信専用メールボックス（私書箱）

各種イベントやアンケート収集などの目的でネット上にメールアドレスを公開すると、目的を達したのちもスパムメールの標的とされてしまいます。また公開チャットや掲示板などの場において議論中の人々が個々に連絡先を交換したい場合、自身の住所やメールアドレスを晒してしまうと個人情報がその後も残ってしまう危険性があります。このような問題を解決するのが Addropot の「私書箱」です（図9 私書箱の作成画面）。

私書箱は3日～3ヵ月程度の期間限定・受信専用の宛先。私書箱に送信されたメッセージは指定されたメールアドレスに自動転送されます。私書箱にも認証クイズを併用することができるので、メッセージ送信者を限定することが可能です。

※上図中、各センターの私書箱数には限りがありますが、残数がゼロになると新たな地域センターが発生します。

■予約メール

「予約メール」は、あらかじめ作成しておいたメールを予定した日に自動送信する機能です。例えばいま書き上げたメールを「1月1日に送る」と設定すると、元旦に操作する手間をかけることなく年賀メールを送信することができます。

非常事態検知

日常生活にあっても、さまざまな危険が存在します。ある日突然、意識不明や死亡といった事態に陥る可能性を否定できる人はいないでしょう。「予約メール」に付属する非常事態検知は、あなたが不慮の事故（非常事態）に遭ったとAddropot が判断した場合に、適切なメールを親族・知人に自動送信する機能です。

ユーザーが Addropot にログインしない期間が一定日数に達するとシステムは「非常事態」を宣言し、予約メールを指定されたメールアドレスに送信します。ログインしない期間、すなわち「非常事態の発生条件」は最短1日～最長3年の間で指定でき、例えば、

発生条件1:
最終ログインから 3 日以上ログインしない場合

発生条件2:
最終ログインから2週間以上ログインしない場合

発生条件3:
最終ログインから20ヵ月以上ログインしない場合

など、各条件による非常事態が宣言される毎に異なる処理を行うことが可能です。

また予約メールの「送信予約日」と非常事態の「発生条件」は併用が可能です(図10)。例えば『発生条件3が宣言され、且つ 2018 年 4 月 18 日に到達した場合に送信する』といった設定ができます(図11の赤丸)。これにより自身が死亡した場合にのみ、『娘の10歳の誕生日にお祝いメールを自動送信する』といった予約が可能となります。

図１２

送信先の自動追跡機能

しかしここで大きな疑問が生じます。それは『予約メールの送信先メールアドレスが、数年後にも有効か？』という問題です。送信を実行する未来の時点で、相手が送信先アドレスの利用を中止しているかもしれません。これを解決するのが「送信先の自動追跡」です(図12)。

もし自動送信を実行する時点で、送信先アドレスの転送先が Addropot に登録されていれば、自動追跡によりメッセージを最新の連絡先に転送することができます(※実際に転送が行われる場合は、送信先アドレスと転送先の双方に同一のメッセージが送信されます)。予約メールを送信すべき相手も Addropot ユーザーであれば、高い確率で未来に向けてメッセージを残すことが可能となるわけです。

■ Addoropot の効用

Addropot の目的は、連絡することができなくなった相手に対してメッセージを送る手段を提供することです。たとえ相手の氏名・名称が変わっても、転居してしまったとしても、そして自身が死亡したとしてもコミュニケーションを可能とすることを目指します。個人の名刺やショップカードはもちろん、社員・同窓会名簿など幅広い用途に

ご利用いただければ幸いです。

■ Addoropot の利用料金

Addropot Beta のご利用は無料です。正規版公開時には有料サービスとして追加機能を提供いたしますが、現在で利用できる機能については正規版においても無料とさせていただく予定です。

【このサービスに関するお問い合わせ先】
株式会社レーレンフュラー　広報担当：岩本、藤井

お問い合わせページ：
http://leerenfueller.com/contact.php

株式会社レーレンフュラー
〒140-0001 東京都品川区北品川 1-9-7-1015
http://leerenfueller.com/